

中国大陸および台湾における民事執行制度の意義と課題 —日本法との比較考察—

ちょう えつ

張 悦

執行の世界では、はじめに力があつた。力は正義と信じられた。しかし、力のあるところに必ずしも正義がなく、正義は必ずしも力に支えられていない。そこで、民事強制執行についての不当な実力行使と正当な権力行使と判別して、前者の抑止に努め、後者を支援し実現することが、民事執行法の課題となる。

民事強制執行における力は、中国大陸および台湾ではどのように行使されているのか、日本での権利行使のあり方とはどのような異同があるのか、お互いにどのような示唆を与えることができるのか、について、本論文はテーマとしてきた。

本論文は3つの部分から成り立っている。第一部は、中国大陸における民事執行制度の歴史沿革・制度構成および立法体系を整理したうえで、その具体的な制度の意義と課題を紹介し分析したものである。台湾現行強制執行法は、アジアでの最初の法典化された民事執行法である。台湾強制執行法の成立後、2012年まで計7回の改正がなされ、この7回の改正に従って日本法・ドイツ法およびアメリカ法における民事執行に関する各制度が吸収・消化された現在、台湾強制執行法は多元的要素が重なって独自の性格がある法律となる。第二部は、台湾強制執行法における具体的な制度の意義と課題について紹介と分析を行ったものである。第三部は、法の歴史沿革・法の構造・具体的な法制度という三つの視点から中国大陸および台湾における民事執行制度と日本民事執行制度との比較考察を行い、お互いに示唆を得たものである。

以上の三部で行った分析や比較考察を踏まえて、権利実現の実効性の確保のため、債権者の権利を強化する財産照会制度や債務者目録制度などが導き出された。そして権利の実効性を確保すると同時に、任意履行率を引き上げさせる、かつ柔軟な権利実現を達成できる執行ADRなどの解決策を提出した。

最後に、民事執行手続において、債権者・債務者間の利害のバランスをいかに再調整するか、または、当事者あるいは利害関係者の利益をいかに保護するかという問題については、今後の課題としたい。

The Purport and Problems regarding the Chinese Mainland and Taiwan Civil Execution System

----- A Comparison with Japanese Law

ちょうえつ

ZHANG YUE

In the world of compulsory execution, the most important thing is about power. The power is considered to represent justice. However, have the power to place there may not have justice. Justice does not necessarily need the power to support. So identify the exercise of civil enforcement power is right or wrong, and effort to curb the former support the latter which is Civil Compulsory Execution Law's important method.

The Power of civil compulsory execution is how to exercise in Chinese mainland and Taiwan? And have any different form the way of the Japan? These subjects are to be solved in this thesis.

This thesis consists of three parts. The first part is about the purport and problems regarding the Chinese Mainland Civil Execution System. The second part is about the purport and problems regarding the Taiwan Civil Execution System. The third part is a comparative study of Civil Execution Law in Japan and Chinese mainland and Taiwan.

Be based on analysis and comparison of the above three parts, trying to figure the way to strengthen creditor rights, and the way to improve the spontaneous execution rate.

Finally, how to adjust the balance of interests between creditors and debtors which as the further subject and direction in the future study are suggested.